

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 50名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年齢に合わせた各単位でのプログラム作成により、一人ひとりのニーズに応えやすくしている。	・年齢だけでなく、異年齢との交流を様々な活動を通して経験できるようにしている。	・より柔軟な対応をとるための職員のスキル向上だけでなく、様々な活動を企画できる発想する力は常に向上する意識を持つ必要がある。
2	・楽しく通っている利用者が多い。	・個別での支援を行っているので、より注目した支援を行っている。	・職員の知識をつける事でより良い支援につなげていく。
3	・保護者と連絡を取り合いつながりを深く持っていることで、日ごろの様子の共通理解の体制が整っている。	・お迎えの時間を使ったフィードバックにて、保護者と直接顔を合わせながら、その日の支援の振り返りを行い情報共有や保護者の相談に応じている。	・保護者と必ず顔を合わせる為、会話をしながらニーズを引き出し、そのニーズに対応していくことで信頼してもらえるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者間の交流する機会がない。	・保護者が交流する場や行事などの企画や提供が乏しい。	・研修会や勉強会、もっと気軽なお茶会など保護者間で交流できる機会を立案していく。
2	・地域の他の子どもと活動する機会がない。	・事業所として、地域の子どもに対しての活動との接点が出来ていない。健常児との交流を必ずしも希望しない保護者もあり踏み出せないでいた。	・職員が地域の子ども対象事業と接点を作っていく。
3	・事業所の併用をしている利用者に対する支援の共有。	・相談支援を通して情報共有はしているが、直接のやり取りは少ない。	・各事業所と連携、情報共有がとれる関係性を構築し、会議の場、時間を確保していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子どもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校
------	----------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 56名

回収数 50

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	45	5	0	0	・部屋には差がある。 ・完全個室が良い。	法令で定められた広さを有している。届け出の通り、安全かつ有効的にスペースを活用していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	47	2	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	10	2	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47	2	0	1	・机、いすの高さが子どもに合っていない時がある。	子どもの体幹や姿勢など着目し、身体に合った道具を使用するよう周知していく。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50	0	0	0	専門という少し違うかもしれないが、子どもがやりたくなることを提案して準備してくださってるのが嬉しいと思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	2	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	3	0	1		ガイドラインに沿って一人ひとりに合わせた支援内容を設定している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	44	6	0	0	・時々ある小集団活動が良い。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	9	24	7		個別療育となるため、交流の設定はないが、ご要望があれば検討していく。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	48	1	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	2	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	13	7	13	・ペアレントトレーニングを行う機会があればありがたいです。	ご要望に応じて検討していく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	47	1	0	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	7	3	2		個別に相談に応じ対応している。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	46	2	0	2	・悩みを聞いていただく事がたくさんありました。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	12	21	9	・イベント時は親や兄弟も参加できると嬉しい。	ご要望を調査し、必要に応じて実施を検討する。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	4	1	6		引き続きサービスの向上に努める。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46	3	0	1		口頭でお伝えしたことを紙面等に残すようにしている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	49	0	0	1	・本人の活動の様子を写真に撮って、個人的に送ってもらえると嬉しい。(月一度でも良いので。)	LINEやブログ等で発信を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49	1	0	0		引き続き、留意する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	48	0	0	2		引き続き、周知および説明に努める。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	45	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	6	0	11		緊急時に必ず連絡がつく連絡先を共有している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	49	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	6	0	1	・どの習い事よりも一番楽しみに通っています。いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	2	0	0	・いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年	2月	15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 法令に準じ、個別で対応できるようなスペースを確保している。各部屋の特色を活かせるよう配置等工夫している。 個室が3つとホールをバーテーションで仕切って行っている。 一人一部屋・スペースとし、落ち着いて加谷取り組める環境を確保している。 各部屋で1対1の支援を行っている。 1対1で行っている。 				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 1対1で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法令に準じて配置しているが、有休を取得するとともに一人当たりの担当コマ数が増えすぎたため、現状のままでは厳しい。 ギリギリの定員数で行っているため、職員の病欠の際集団などで対応している。 一人一人の負担が大きいため、精神的にもきつい時がある。 法令で定められた人員配置は満たしているが、利用人数に対し職員がもう一人いると好ましい運営（有休消化、研修への積極的な参加等）ができると感じる。 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 危険と思われる箇所に(カウンターの角など)クッション材を設置するなどの配慮をしている。また、利用者の体格に合わせられるよう、各部屋に4種の机と椅子を配置している。 危険性を考慮し整理整頓を心がけている。 部屋に番号を振って分かりやすくなっている。物が見えないようになっていたり、外の音が聞こえにくい部屋もあり、集中して取り組める。 				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> トイレは毎日、校舎内は週一清掃している。ゴミなどが落ちていた際はすぐに拾うなど、声を掛け合いみんなが心地よく過ごせるようにしている。支援終了後には、机や椅子などを始め、手を触れた箇所などの消毒を行っている。 運動をする時は大きな部屋を使うなど、活動に合わせた空間を利用している。 支援後の消毒や、制作や消しゴムを使用した際に、支援内でゴミ拾いを活動の一つとして取り入れている。 支援毎に消毒を行っている。 必要に応じて机・椅子の大きさやレイアウトを変えている。 				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてレイアウトを変更している。 一部を除き、完全個室で外からの音などほぼ遮断できる環境となっている。 				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに朝礼やミーティングの時間を設け、職員全員で共有している。 職員室内にて、振り返りが出来るよう朝礼やミーティングを行うなど常に情報交換を行っている。 業績評定で、目標と振り返りを行っている。 				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価を実施し、いただいた声を業務改善につなげている。 頂いたご意見を基に、職員で反し合い改善すべき点は早急に会議を開き検討していく。 アンケートを実施して、改善点を把握する。 				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼などで担当する利用者の事やまたそれ以外でも相談などできるような発言する機会を設けている。 職員室内にて、振り返りが出来るよう朝礼やミーティングを行うなど常に情報交換を行っている。 毎日の朝礼で報連相ができる。 				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価を取り入れていないが、年一回以上の社内監査を実施している。 第三者による外部評価は行ってないが、ご要望に応じて導入の検討が必要になると考える。 行っているのか分からない。 不明。 			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 月一回以上の内部研修を受ける機会を設けている。また、希望があれば社外の研修にも参加できる。 参加できる研修には、参加できるよう職員室のスケジュール表に予定を記載するなどの周知をしている。 研修に参加し、記録も残している。 内部研修が充実しており、支援に重ならない限り受講することができる。 希望者は社外で行われる研修を受講することができる。 計画的な研修プログラムが組まれている。 				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者本人にも分かるように工夫しながら、療育中目につく場所に掲示し、都度確認しながら行っている。また、フィードバックにて保護者にも支援内容や様子をお伝えしている。 支援記録を確認するなど、必要な時は担当者に聞くなど、常に情報提供できる体制をとっている。 フィードバック時にプログラム内容を伝えている。 				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントを基に、職員全員で共有し計画の作成をしている。 アセスメント元に、担当や自発管と話し、計画を作成する。 				

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・モニタリングを実施し、意見を出し合い相談するなどして検討している。 ・簡単ではあるが、会議を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・個人ファイルに保管し、すぐ手に取って確認できるようにしている。 ・計画作成時に、職員と課題、目標を確認している。 ・共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・社内で標準化されたツールを用いている。 ・都度、確認している。	・インフォーマルなアセスメントがどのことなのか、使用しているのかわからない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ガイドラインに沿ってひとりひとりに合った支援内容を設定している。 ・設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・必要に応じて利用者に関わる職員数名で立案を行っている。 ・利用者の課題を共有して、活動のアイデアを頂いたり、複数人で担当している利用者は、活動内容、その反応を共有している。 ・行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・日々のフィードバックにて保護者からのご要望を受け、プログラムを工夫している。また、職員間でも相談、共有している。 ・それぞれの担当にお任せしている。 ・保護者様からの要望や、子どものやりたい気持ちを汲み取りながら、飽きないための活動を考えている。 ・随時、個々にあった支援を考慮している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を週宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別活動が中心ではあるが、必要に応じて実施している。 ・イベントや制作を集団で行う時がある。 ・行われている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝礼にてその日の内容、役割分担の確認を行っている。 ・朝礼を毎朝行っているが、役割分担はない。電話対応係や、キャンセルシートの入力など、その日の担当を決めるのはどうか。 ・朝、または支援の合間に、情報共有して連携を図っている。 ・必ずではないが、必要時打合せをし情報共有を図っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・常に共有できるよう連携している。必要に応じて休みの職員も共有できるように社内ツールを使用し確認できるようにしている。 ・支援後は時間がないため、あまりできていない。帰り道で、雑談がてら話す程度。 ・終了後（主に翌朝）に振り返りと気づいた点などを共有している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・支援記録を入力し、全員が閲覧できるようになっている。改善が必要な場合は、全体で共有し相談や意見を求め合っている。 ・日々の支援の記録に直し、翌々日までには記入するように努めている。 ・必ずではないが、必要時打合せをし情報共有を図っている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6ヶ月ごとにモニタリングを行い、ご要望の確認、計画の達成度について確認している。 ・都度、利用者の様子をモニタリングし、卒業を促す利用者を決めている。 ・行っている。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	2		・地域連携の難しさがあるが、今後行っていきたい。 ・「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」 * 地域交流の機会の提供には難しいものがある。職員数・時間等	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・ひとりひとりの思いに寄り添いながら、「自分で決める、伝える」ことの大切さを伝えていく。 ・支援内容を利用者と相談して決めていく。		
	関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・担当者、また児童発達支援管理責任者も同行し参画している。 ・担当者会議では担当の職員が参画している。 ・利用者の担当者が出席している。	
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4		・関係機関との連携が図れるよう、まずは保護者との関係性を築き、体制を整えていきたい。 ・地域や、他の関係機関とは連携が取れていない。 ・保護者から間接的に情報を得ている。
		28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	4		・直接連携は取れていない。保護者からの伝達のみであるため、今後体制を整えていきたい。 ・学校との情報共有は行えていない。 ・相談員さんを通じて共有することはある。
		29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	・親御さんから園などの様子を聞いたり園からの情報を紙面でいただき	・直接連携は取れていない。保護者からの伝達のみであるため、今後体制を整えていきたい。 ・特に行っていない
		30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		・前例は少ないが、保護者を通して行っている。今後は直接対応できる体制を整えていきたい。 ・障害福祉サービスへの移行をしているのかわからない。 ・その事例がない。
		31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・6ヶ月ごとにモニタリングを受けるなどの連携を図っている。また、新規お問い合わせや移行支援など利用者に合わせて対応が出来るようにしている。 ・必要に応じて連携していきたい。	・連携を取り、助言等を頂きたい。

との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望に応じて検討していく。 ・市の方針でこちらからはないが機会があれば活動したい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎3校で声を掛け合い、児童発達支援管理責任者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加していない。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のフィードバックを通して、保護者と連携し共有、共通理解を持てるようにしている。 ・フィードバックを有効に活用し、話しやすい環境設定をし悩み事や発達課題について共有している。 ・フィードバックの際にご家庭や園での様子を伺っている。 ・支援後のフィードバック時にお話の機会を設けている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・相談があるときは個別に対応している。ペアレントトレーニングと銘打っては行っていないが、ご要望があれば検討していく。 ・カウンターに置いてあるが、直接つたえることはしていない。 ・直接ペアレントにつなげる立場にないが、相談されたら勧めている。(受講した経験がある為)
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明し確認いただいている。質問があれば都度検討していく。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成するには、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月ごとのモニタリングを行っている。また、必要があれば都度対応している。 ・支援中に子どもの意思を確認したり、フィードバックの際に保護者の要望を聞く。それを基に、計画を作成している。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ご利用、継続ご利用の際にガイドラインに基づき支援計画の説明を行い、同委の署名をいただいている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があればその都度対応している。 ・家族支援として実施している。 ・支援計画の見直し時や、保護者からの要望があった際に、面談を設けている。 ・親御さんからの要望があればお話をする機会を設けている。 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望に応じて対応していきたい。 ・保護者同志での交流には難しいものがある。必要であれば交流を検討する。利用者の兄弟同士の交流は、集団療育として実施している。 ・保護者会等はできていない。保護者同士で相談や関わりが持てる会があるというのでは。 ・〇〇の会はない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティングにて確認、周知している。また、必要があれば都度対応している。 ・主な苦情といえる事例がなかった。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログやLINE等で発信している。 ・週一空きコマ情報更新。 ・月一ホームページの更新。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設保管している。 ・SNS掲載時に、顔と名前を載せない。利用者に他の利用者の名前を言わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善する必要がある箇所がある。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的、聴覚的に配慮し、全ての利用者、保護者に伝達できるよう工夫している。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の招待など行っていない。 ・行事は利用者とそのご家族
非常時	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを作成し、定期的に会議、訓練を行っている。 ・契約の際に、必要なマニュアルをお渡ししている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には周知しているが、ご家族まで周知できているかは不明。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画を作成し、定期的に会議、訓練を行っている。 ・年間スケジュールを組み、毎月ミーティングで話し合い実施に繋げている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約時に健康状態について確認している。また必要があれば保護者から報告していただくなど、都度確認している。 ・受付表にて記載して頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知していない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供はしていない。水分は持参していただいている。 ・食事やおやつに提供は行っていない。イベント等で配布されるおやつに関しては、自己責任にて管理して頂いている。 ・アレルギーまで周知していないが、お菓子等を渡した時は、保護者の方へ連絡をしている。 ・行事で配布するお菓子に使われている成分等を確認している。 ・食事提供の場がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に沿って、必要に応じた対応を行っている。 ・訓練以外にも、気が付いたときに声を掛け合っている。 	

同等 の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡票を作成し、保管している。定期的に「引き渡し訓練」を行うなど周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えてはいても、理解している保護者は少ないのではないか。避難訓練では公園に行っているため、本当の避難場所を知らない可能性がある。 ・研修や訓練は行っているが家族への十分な周知とまではできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティングや朝礼などで報告し合い、再発防止に向け検討している。 ・ミーティングでの報告、また報告書の作成を行っている。 ・ミーティングで、ヒヤリハットを共有する。 ・月1会議で行っている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティングや朝礼などで報告し合い、適切な対応について検討している。 ・虐待防止委員会会議に参加し、適切な対応について確認している。 ・研修を受け、ミーティングで都度確認をしている。 ・研修を可能な限り受講している。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に記載し、契約時、支援計画更新時に都度説明し、了承を得ている。 ・契約時、支援計画更新時などで説明を行い、またやむを得ない場合などはその都度行っている。 ・「ちょっと待っていてね」も言わないように、事前準備に気をつけたり、待つ間に行うことを与えてから、ただ待つことがないようにしている。 ・会議で案を出しあい家族のかたにもご理解いただき、逐一報告を行った。子の様子に応じて都度対応を変えていった。 	